

だきしめたくなる

「あーあ。またやつてる。」

いつもいつもほくのつくえを開けて、えんぴつやけしゴムをちらかしている。「またかあ……」ほくはため息をつく。

さい近、頭がよくなったほくの弟りゅうご。ほくのつくえの中をあさってばかりだ。ちらかした後を直すのはほく一人。ほくは思わず、

「めっ。」とおこつてしまう。ママにおこられても平気なくせに、ほくが「めっ。」つて言うのと、たちまちかなしい顔になつてなきます。それからママのところへかけよつて行く。

直していると、りゅうごがまた大急ぎでやつてきて「にや」と笑いながら、えんぴつをちらかす。

「もう。」と言うと、すなおにえんぴつを返す。そんな時、ちよつとかわいいと思う。

ほくの友だちがあそびにきていたら、部屋にやつて来て、自分もあそんでいるつもりで、まだ言葉にならない言葉を一所けんめいしゃべっている。

ほくのまねばかりして、出来なかつたら、「キィー。」つて言つて物を投げる。

ほくがママにおこられて泣いていると、「がんばれ」と言つ

大阪府

堺市立錦西小学校三年

大橋 詠一

ているみたいに、頭をたたきにきて、はげましてくれる。

「こちょこちょ」つてすると、「えへへ。」つて笑うから、ほくも「んふふふ。」つて楽しくて、笑つてしまう。

一年半前までは二人っ子だったほく。

りゅうごが生まれて二人っ子。

おやつの際は半分こ。

おもちゃも半分こ。

ねる時もベッド半分こ。

お父さんや、ママにかまつてもらえるのも半分こ。

今まで全部ほくだけのものだったのに、これからは、ずつとりゅうごと半分こ。だから、何だかそんな気分。

だけど、ふりかえるとりゅうごが笑つて立っている時、自分で色々考えて何かをしているのを見た時、

「いつてらっしゃい。」とアンパン手を振つて学校に送つてくれる時、

ほくはりゅうごを「ぎゅっ」とだきしめたくなる。弟がここにいてということがうれしいと思う。

ほくの弟、りゅうご。この家に生まれてくれてありがとう。

お父さん、ママ、二人っ子にしてくれてありがとう。